

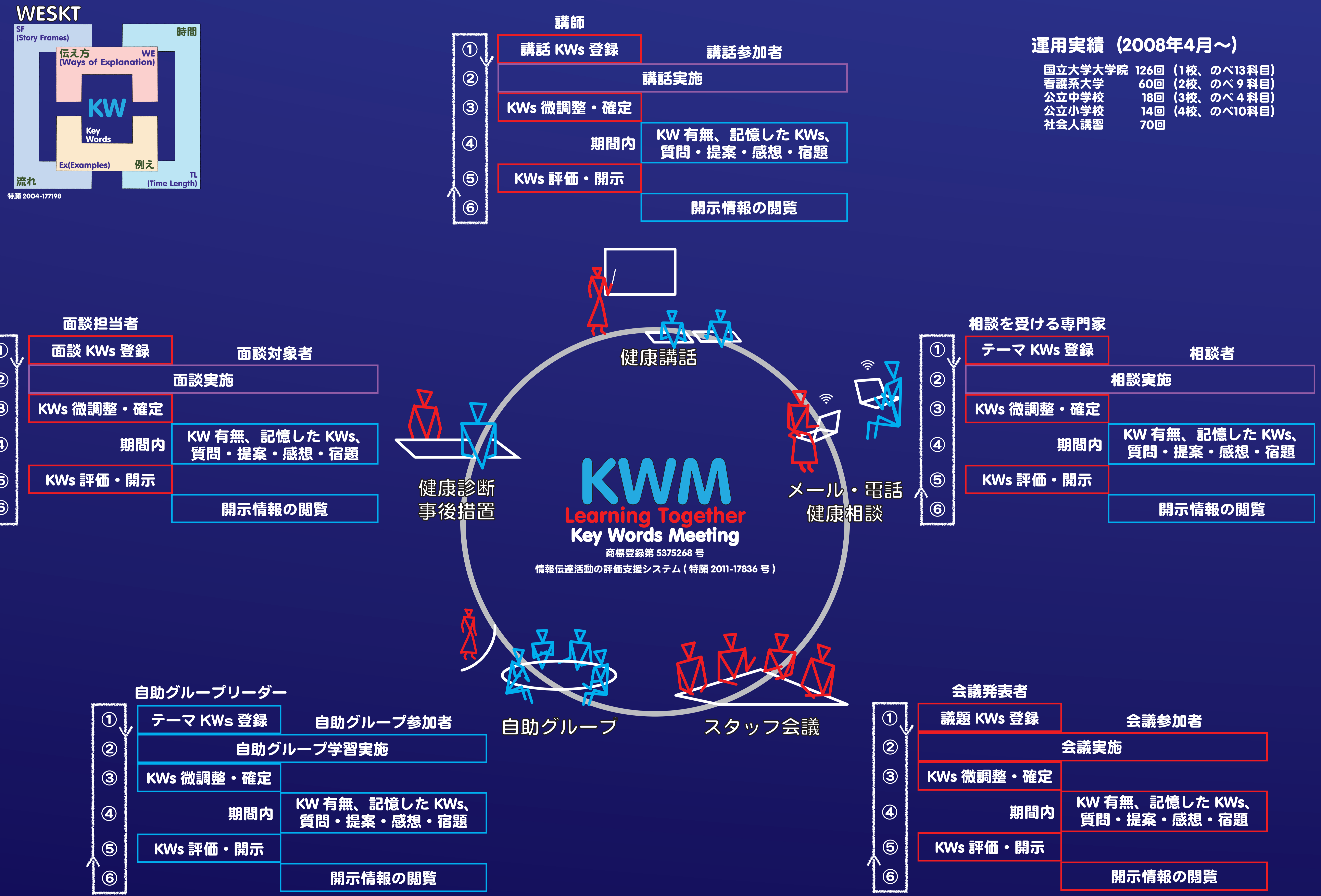
KWM : Key Words Meeting

はじめに

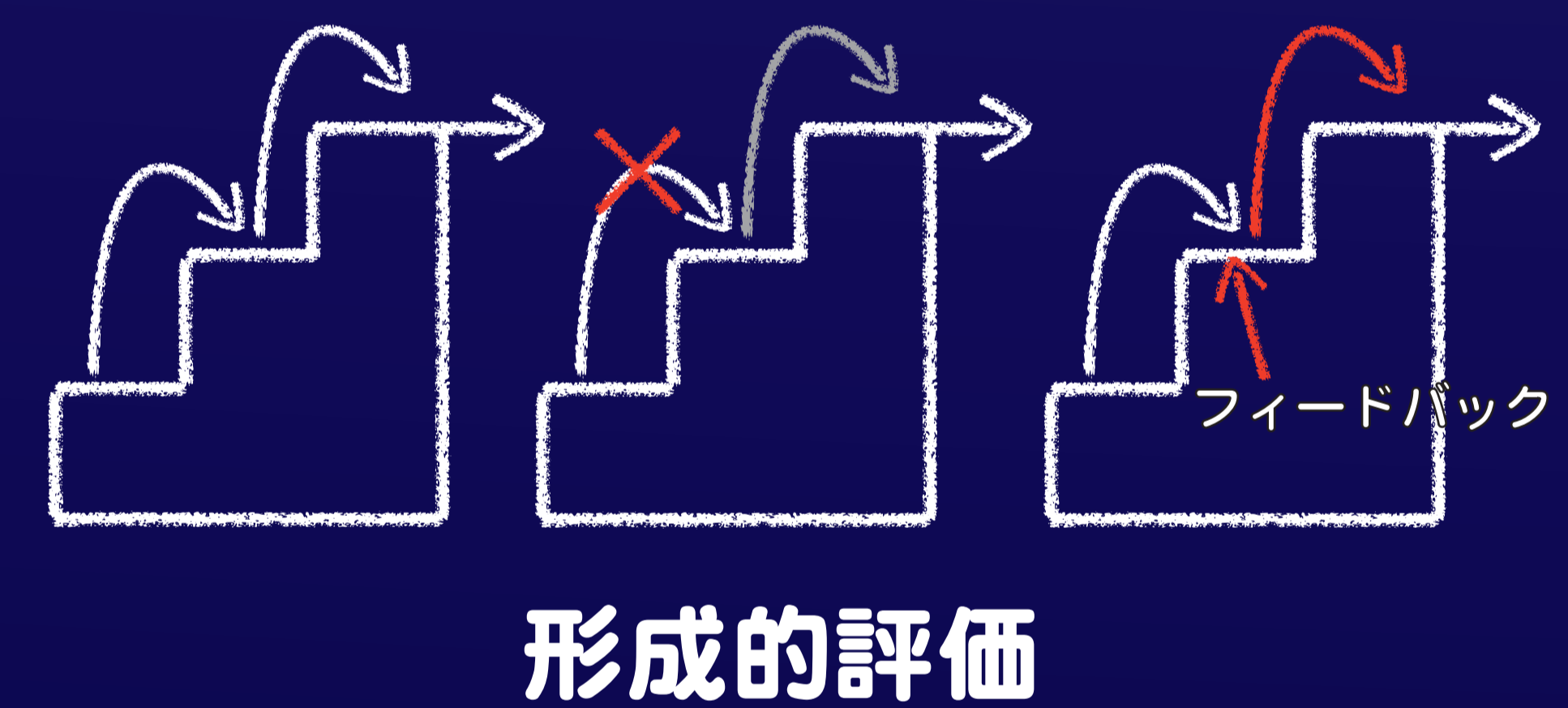
大学などの教育機関においては、指導の改善や第三者による外部評価への対応が求められており、組織的な取り組みが活発に行われている。
本研究の目的は、授業支援ツールである KWM (Key Words Meeting) の産業保健領域での応用可能性について検討することである。

考察

KWM は、受講者の反応を評価しながら教育戦略を介入期間中に調整でき、また指導内容に大きく依存せずに利用できる汎用性を持つことから、健康講話や健康診断の事後措置、健康相談や自助グループにおける教育介入時に有効であると思われる。



教育評価 フィードバック



KWM と 5 ポイント評価 (JAHNG & 栗島, 2010)

KWM の授業評価の指標

$$\begin{aligned} \text{指導者KW}_i \text{ の記憶率} &= \frac{\text{指導者KW}_i \text{ に該当する学習者KWを登録した人数}}{\text{全学習者数}} \\ \text{指導者KW}_i \text{ の理解率} &= \frac{\text{指導者KW}_i \text{ に該当する全ての学習者KWの評点の合計}}{\text{指導者KW}_i \text{ に該当する学習者KWを登録した人数}} \\ \text{指導者KW}_i \text{ の伝達達成指数} &= \frac{\text{指導者KW}_i \text{ に該当する全ての学習者KWの評点の合計}}{\text{全学習者数}} \end{aligned}$$

(Kurishima et al., 2009)

表1 指標の計算例

授業回数	1			2			3		
指導者 KW No.	記憶率 [%]	理解率 [%]	伝達達成 指数	記憶率 [%]	理解率 [%]	伝達達成 指数	記憶率 [%]	理解率 [%]	伝達達成 指数
#1	0.0	-	0.0	57.9	90.3	52.3	92.1	92.2	84.9
#2	5.9	100.0	5.9	26.3	85.0	22.4	57.9	92.0	53.3
#3	41.2	64.3	26.5	76.3	89.7	68.4	39.5	100.0	39.5
#4	17.6	100.0	17.6	13.2	100.0	13.2	44.7	87.3	39.0
#5	0.0	-	0.0	10.5	100.0	10.5	26.3	95.0	25.0
#6	11.8	50.0	5.9	52.6	93.8	49.3	15.8	91.7	14.5
#7	35.3	75.0	26.5	0.0	-	0.0	0.0	-	0.0
#8				57.9	79.0	45.7	2.6	100.0	2.6
#9				57.9	90.9	52.6	73.7	94.5	69.6
#10				18.4	92.9	17.1	2.6	100.0	2.6
#11				2.6	100.0	2.6			
平均	16.0	77.9	11.8	34.0	92.2	30.4	35.5	94.7	33.1

(全 15 回の授業から 3 回分を抜粋、学習者数 38 人) (栗島他, 2012)

授業評価・授業改善の背景

制度の改革

- 1991 大学設置基準の大綱化
事前規制の緩和、教育活動の自己点検・自己評価
- 1999 大学のFD努力義務化
FD (ファカルティディベロップメント)
授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取り組み
- 2004 認証評価制度の義務化
7年に1度、第三者の評価を受ける
- 2007 大学院のFD義務化
- 2008 大学のFD義務化

学習指導評価の現状

- すべての学習指導が終了した時点で実施される評価
 - 期末テスト
 - 授業評価アンケート
- 授業中の評価
 - 指導者による 学習者の反応の感覚的な評価
- 課題による評価
 - 小テスト
 - 宿題

学習者への評価結果のフィードバックが困難
評価における到達目標や結果の記録が残らない
実施・フィードバックに多くの時間が必要

教育介入における

評価とフィードバックを支援するツールとは